

香川用水施設の漏水事故について

平成30年2月

国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部

漏水事故の状況と対策工事

- 平成29年10月10日、(独)水資源機構が管理する香川用水(高瀬支線)において漏水事故が発生。
- 主な原因は、PC管のカバーコートモルタルが浸食されたことによる劣化に伴う破損・漏水と推定。
- 破損箇所及び劣化の進行が著しい区間については、備蓄資材(鋼管等)を活用した応急対策を実施。漏水の恐れのある区間については、応急的な補修・補強を行い、12月18日より通水を再開。
- これまで、香川用水においては、平成11年度から平成20年度に、アルカリ骨材反応等による劣化が確認された区間を対象に緊急改築事業を実施。
- 本路線においては、機能診断及び機能保全計画に基づき、同様の劣化が確認された区間の改築事業を検討中。

【香川用水施設の諸元】

管理者 (独)水資源機構
 完成年 昭和49年度(管理開始 昭和50年4月)
 目的 農業用水、水道用水、工業用水
 施設 取水施設 最大取水量15.8m³/s(改築済:H20年度完了)
 導水路トンネル 8km
 東部幹線水路 35km(内 約9km 改築済:H20年度完了)
 高瀬支線 4km
 調整池 有効貯水容量 約300万m³(緊急改築事業で設置:H20年度完成)

【漏水の状況】

発生日時 平成29年10月10日12時確認
 破損施設 高瀬支線水路
 (PC管 Φ1500mm)
 最大漏水量 約2m³/s

【対策の状況】



内面バンド設置状況



鋼管敷設状況



漏水事故の状況

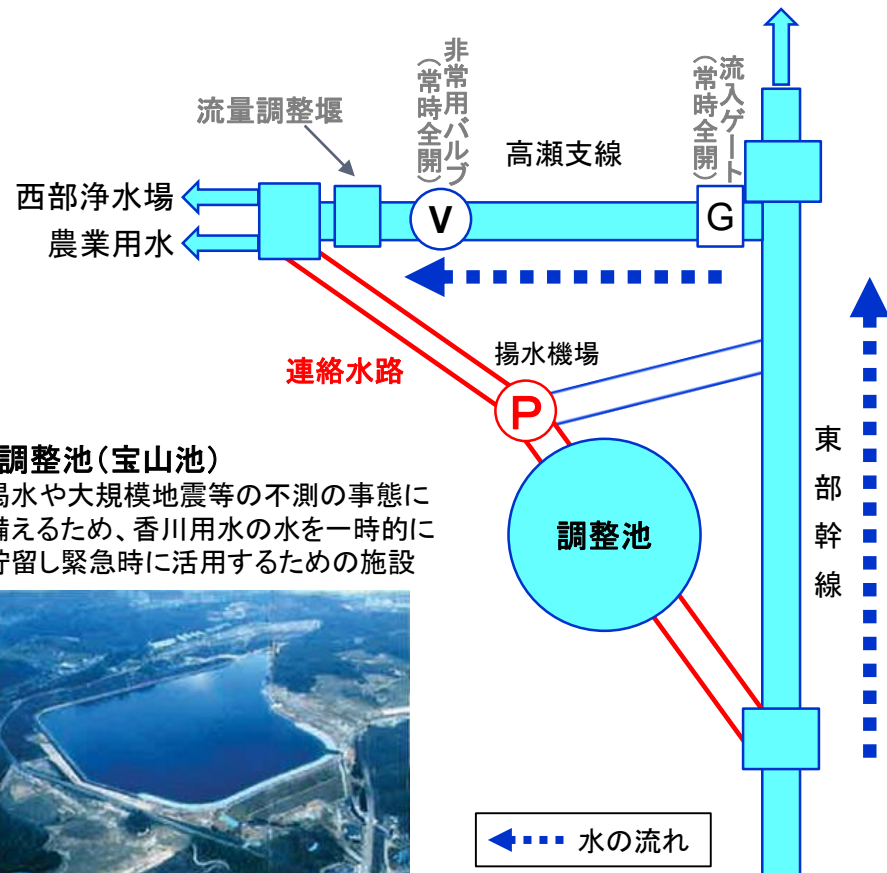


PC管の劣化状況

漏水発生後の対応

- 高瀬支線からの漏水が発生後、通水を停止し漏水の完全停止を確認。
- 当該水路により通水されていた水道用水は連絡水路を経由した供給ルートに変更し、水道利用者への影響を回避。また、農業用水については、地区内のため池を活用した上で、連絡水路を利用して通水することで影響を回避。

【通常運用時における水の流れ】



【今回(漏水事故)の対応】

